

# 2019年度 大阪医科大学 (前期)

医学部

試験時間 : 100 分

全問必答

**1**  $\triangle ABC$  は、3 辺の長さ  $BC = a$ ,  $CA = b$ ,  $AB = c$  が整数で  $\angle BAC = \frac{\pi}{3}$  を満たすとする。

- (1)  $ab = 21$  を満たすような  $(a, b, c)$  をすべて求めよ。
- (2)  $a + b + c = \frac{bc}{2}$  を満たすような  $(a, b, c)$  をすべて求めよ。

**2**

- (1)  $t \geq 0$  のとき、不等式  $\frac{t^2}{2} < e^t$  を示せ。
- (2) 実数  $c$  に対して、直線  $y = c$  と関数  $y = (x^2 - 1)e^{-x^2}$  のグラフとの共有点の個数を求めよ。

**3** さいころを 4 回投げて出た目をそれぞれ  $Z_1, Z_1', Z_2, Z_2'$  とし、 $X_i (i = 1, 2)$  を次のように定義する。

$$X_i = \begin{cases} Z_i & (Z_i \geq 4 \text{ のとき}) \\ Z_i + Z_i' & (Z_i \leq 3, Z_i + Z_i' \leq 6 \text{ のとき}) \\ 6 & (Z_i \leq 3, Z_i + Z_i' > 6 \text{ のとき}) \end{cases}$$

- (1)  $X_1$  がとりうる値とそれぞれの確率を求めよ。
- (2)  $Z_1 = 1$  のとき、 $X_1 + X_2 = 6$  である条件付き確率を求めよ。
- (3)  $X_1 + X_2 = 6$  のとき、 $Z_1 = 1$  である条件付き確率を求めよ。

**4**

- (1)  $A, O$  を  $AO = 1$  を満たす平面の定点とし、 $C$  を  $O$  を中心とする半径  $a (a < 1)$  の円とする。点  $P$  が、  
条件：線分  $AP$  と円  $C$  との共有点が  $P$  のみである  
を満たすように  $C$  上を動くとき、線分  $AP$  の長さの最大値と最小値を求めよ。
- (2)  $A, O$  を  $AO = 1$  を満たす空間の定点とし、 $S$  を  $O$  を中心とする半径  $a (a < 1)$  の球面とする。 $S$  上の点  $P$  で、  
条件：線分  $AP$  と球面  $S$  との共有点が  $P$  のみである  
を満たすものと考えて、すべての  $P$  に対する線分  $AP$  の和集合を  $K$  とする。 $K$  の体積  $V$  を求めよ。

**5**  $i$  を虚数単位とし、複素数  $z$  に対し、 $\bar{z}$ ,  $\arg z$  をそれぞれ  $z$  の複素共役、偏角とする。

- (1)  $|w_1| = |w_2| = 1$  である複素数  $w_1, w_2$  に対し、 $\theta = \arg \frac{w_1}{w_2}$  とするとき、  
 $|w_1 - w_2| = 2 \left| \sin \frac{\theta}{2} \right|$  を示せ。
- (2)  $\alpha = -1, \beta = \frac{1 + \sqrt{3}i}{2}, \gamma = \bar{\beta}$  とする。複素数  $z$  が  $|z| = 1$  を満たすように動くとき、  
 $|z - \alpha| + |z - \beta| + |z - \gamma|$  の最大値と最小値を求めよ。

**2019年度 大阪医科大学（前期）****医学部**

（略解）

☞ 証明，図示などは省略

**1**

(1)  $(a, b, c) = (7, 3, 8)$

(2)  $(a, b, c) = (7, 8, 5), (6, 6, 6), (7, 5, 8)$

**2**

(1) 証明は省略

$$(2) \begin{cases} c < -1, \frac{1}{e^2} < c \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \\ c = -1 \text{ のとき} & 1 \text{ 個} \\ -1 < c \leq 0, c = \frac{1}{e^2} \text{ のとき} & 2 \text{ 個} \\ 0 < c < \frac{1}{e^2} \text{ のとき} & 4 \text{ 個} \end{cases}$$

**3**

(1)  $X_1 = 2, 3, 4, 5, 6$ , それぞれの確率は  $\frac{1}{36}, \frac{1}{18}, \frac{1}{4}, \frac{1}{4}, \frac{5}{12}$

(2)  $\frac{1}{18}$

(3)  $\frac{6}{11}$

**4**

(1) 最大値： $\sqrt{1-a^2}$ , 最小値： $1-a$

(2)  $\frac{1}{3}\pi a^2(a-1)^2$

**5**

(1) 証明は省略

(2) 最大値： $4$ , 最小値： $2\sqrt{3}$